

令和7年度事業報告

1. 事業の経過及びその成果

(1) 事業の状況

当期におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善を背景に、景気は緩やかな回復傾向が続きました。一方、当期における当社を取り巻く事業環境は、人口減少の進行に伴う労働力不足が続く中、災害・気候変動への対応など、インフラ管理分野における課題が一層顕在化した一年となりました。

このような中、当社事業別状況につきましては、施設管理事業において、下水道施設の業務増加に伴い前期比約 73 百万円（4.2%）の増収となりました。

設計管理事業においては、鹿島開発関連事業の進展に伴う業務量の減少により前期比約 43 百万円（12.9%）の減収となりました。

なお、土地管理事業におきましては、前期の売上を確保することができました。

また、前期においてホテル・ビル事業を譲渡した影響もあり、当期の売上高は約 2,207 百万円（前期比 23.7%減）、経常利益は約 306 百万円（前期比 55.7%増）、当期純利益は約 332 百万円（前期比 73.8%減）となりました。

(2) 対処すべき課題

当社を取り巻く事業環境は、人口減少に伴う人材確保の難しさに加え、災害・気候変動への対応など、インフラ管理に関する課題が多様化しており、引き続き厳しい状況が見込まれます。

これらの状況を踏まえ、当社が対処すべき主な課題は以下のとおりです。

- ・災害・気候変動への対応に資する技術力の維持向上
- ・専門人材の確保・育成および働きやすい職場環境の整備
- ・自治体ニーズの高度化に対応した業務品質の向上
- ・受託事業の安定的確保と経営基盤の強化
- ・事業構造の変化を踏まえた収益力の改善と効率的な事業運営

当社はこれらの課題に適切に対応し、地域の公共インフラを支える企業としての役割を果たすべく、引き続き事業運営の改善と企業価値の向上に努めてまいります。